

2023 年学術・プログラム委員会活動報告書

委員長:一戸辰夫

副委員長:篠木絵理

委員:小野麻紀子、加藤那津、河田純一、栗原幸江、五木田茶舞、坂本はと恵、櫻井卓郎、里見絵理子、多和田奈津子、平山貴敏、向井幹夫、湯坐有希、小澤美和(第6回学術集会大会長)、多田雄真(副大会長)、桜井なおみ(副大会長)、清水千佳子(理事長)

委員会開催

第1回開催:2023年3月6日 月:19:00-20:15(場所:Zoom)

第2回開催:2023年8月22日 火:18:00-19:05(場所:Zoom)

第3回開催:2023年10月2日 月:18:30-19:45(場所:Zoom)

第4回開催:2023年11月6日 月:19:00-19:40(場所:Zoom)

活動内容

1. 第6回学術集会のプログラム策定および一般演題募集開始

- ① 学術・プログラム委員会を4回開催し、大会長ならびに各委員からの提案を吟味検討し、基調講演、2つのパネルディスカッションおよび3つのシンポジウムの企画内容を策定した。
- ② 上記に加え、事例検討を通じて当事者を行うディスカッションの企画、スポンサードレクチャー4件の企画を準備中である。
- ③ 第6回大会の一般演題募集カテゴリを、大会長及び大会事務局と協力して決定し、12月1日(金)から2023年1月5日(金)までを応募期間として演題の募集を開始した。
- ④ 学術・プログラム委員は査読委員も兼ね、一般演題の査読を行うとともに、優秀演題選出の投票を行う予定である。

2. AYA 研における事例報告における同意取得について

2022年度学術集会の一般演題募集時より、「AYA 研の事例報告に対する同意取得ポリシー」の適用を開始した。第6回学術集会においても適用を継続。

次年度の課題と継続事項

1. AYA 研の学術活動のさらなる充実と社会への発信力向上を目指し、大会長および大会事務局と協力して、第7回学術集会の学術プログラム案を策定する。
2. 引き続き、関連する他委員会と協働・連携して、AYA 研の学術活動の一層の活性化をはかる。

以上